

進行/再発 大腸癌/  
術前(試験)/術後(試験)

# mFOLF0X6療法レジメン インフューザーポン

進行/再発 大腸癌/術前 (臨床試験6コース)/ACHIEVEtrial (6or

C-03-2

< 14日間隔 >

治療日		第1日目	第2日目	第3日目	第4日目	第5日目	第6日目	第7~14日目
治療内容								
検査	採血	○						
診療	副作用の問診	○						
	検査結果	○						
治療中止基準	臨床試験(術前) ①好中球1200未満 ②血小板 5万未満 ③AST, ALT100以上 ④Scr1.5以上 ⑤感染を疑う発熱(38℃以上) ⑥下痢・口腔粘膜炎G2以上 ⑦(末梢性感覚ニューロパチーG3以上は5-FU/I-LV)						ACHIEVEtrial 研究実施計画	
点滴	①生食100ml +アロキシ0.75mg +デキサート3.3mg×2A 点滴静注【30分】	↓						
	②5%ブドウ糖250mL レボホリナート(200mg/m <sup>2</sup> ) 点滴静注【2時間】②'と同時に	↓						
	②'5%ブドウ糖250mL エルフラット(85mg/m <sup>2</sup> ) 点滴静注【2時間】②と同時に	↓						
	③生食50mL 5-FU(400mg/m <sup>2</sup> ) 点滴静注【全開】	↓						
	④生食250ml 5-FU(2400mg/m <sup>2</sup> ) 計230mlに調製し infuser pump(LV5)で 【46時間】	↓						

## 看護のPoint!!

口内炎、下痢の可能性もある。持参薬にワーファリンがあれば主治医に報告(5-FUとの相互作用あり)

エルフラットによる過敏症症状に注意。呼吸困難感、かゆみ、発赤、皮疹など。

主治医に報告し、次回からガモファー注とボララミン注の前投与を考慮する。(ガモファー錠と材料錠でも可  
エルフラットによって末梢神経障害が起こりやすい。まずは冷たいものの接触を避ける。

投与時間は多少前後してもいいが、エルフラットは2時間以上かければ大丈夫

インフューザーポンプの使用上の注意は大丈夫?残量の確認方法をチェックしておいてね。

# 用

(12コース)

第15日目
○
○
○

ial  
書参照

↓
↓
↓
↓
↓

可能)